



株主の皆様へ

第77期 中間報告書

(平成23年3月21日～平成23年9月20日)

石塚硝子株式会社



CONTENTS

- 株主の皆様へ 2
- 事業の概況 3
- 業績推移（連結）・セグメント別業績… 4
- 財務諸表（連結）..... 6
- トピックス 8
- 会社概況 9

表紙写真……季節のフルーツとチーズのジェラート
イタリアンカラーの盛り合わせ

色鮮やかな赤のプレートは、白の陶器と組み合わせる事により清潔感とかわいらしさを演出することが出来ます。プレートタイプは、アミューズスプーンの器でサーブするなど、小ぶりの器との組み合わせもおすすめです。

左記の写真……味わいグラス

この味わいグラスは香りを堪能していただくためにタル型形状を採用し、試飲と試作を繰り返して形状を追求しました。日本酒のまろやかさや甘み、繊細な味のバランスなどを味わって頂けます。



代表取締役会長

石塚 芳三

代表取締役社長

山中 昭廣

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第77期中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆様の平素のご支援に対し、心からお礼申し上げます。

当社グループの第77期第2四半期（平成23年3月21日から平成23年9月20日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様には、今後とも相変わらぬご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

■社是・経営理念

■社是

「誠実・努力・創造」

■経営理念

- (1) “信用第一”に心がけ、社内外の信頼を得る。
- (2) “企業は人なり”の理念で、人材の育成に努める。
- (3) “最高の品質”を求め、絶えず新技術を開発する。
- (4) “革新と創造”に満ちた永続的發展を続け、社会に貢献する。

ガラスを究め、ガラスを超える

「ガラスを究め、ガラスを超える」を経営ビジョンとして、
更なる新製品、新技術の開発に挑戦し、お客様にご満足を提供してまいります。



■事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた回復が見られるものの、原発事故に伴う電力供給の問題、欧米における金融不安の拡大と円高、中東・北アフリカの政情不安による原油価格の高止まりなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

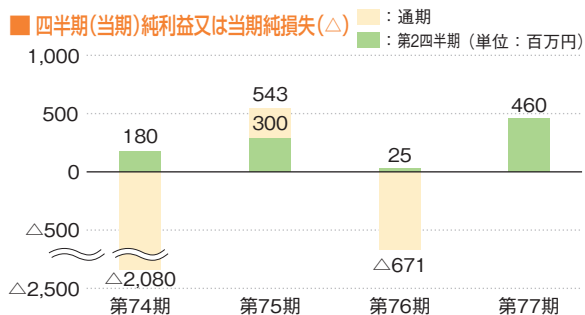
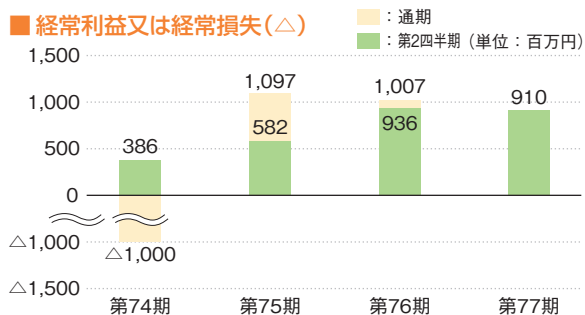
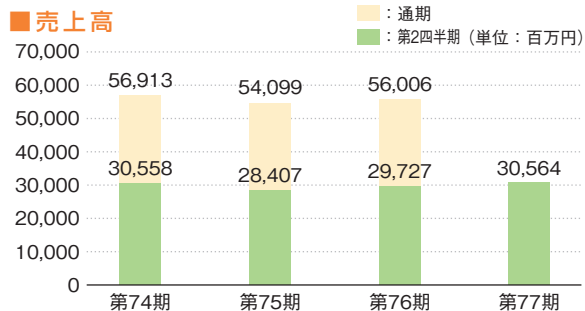
このような状況のなか、当社グループは、5年～10年先を見据え、自ら変革し続け、グループ力を結集して『経営基盤を強化する』をコンセプトに、当期を2年度目とする「石塚硝子グループ中期経営計

画」(ISHIZUKAイノベーション'78)の実行に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、グループ全体の売上高は30,564百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。また、利益につきましては、原燃料を中心とする諸資材価格の高騰などにより、営業利益は954百万円(前年同四半期比8.2%減)、経常利益は910百万円(前年同四半期比2.8%減)、四半期純利益は460百万円(前年同四半期は四半期純利益25百万円)となりました。

業績推移（連結）・セグメント別業績

■業績推移（連結）



■セグメント別業績

(1) ガラスびん及びハウスウェア関連事業

ガラスびんは、震災の影響により一時的に出荷が増加しましたが夏場以降は天候不順もあり低迷し、売上高はほぼ前年同四半期並みの9,626百万円となりました。一方、ハウスウェアは、貯蔵びんを始め一般市販品の売上が減少したものの、企業向けの景品受注や中近東向けの輸出が伸長し、売上高は5,012百万円となりました。



焼酎びん



テキスタイルプリントグラス

(2) 紙容器及びプラスチック容器関連事業

紙容器は、夏場以降は猛暑効果があった前年同四半期と比較して伸び悩んだものの、震災直後の受注が大幅に増加したことから拡販活動により、売上高は5,056百万円となりました。一方、プラスチック容器は、震災の影響と積極的な拡販活動により出荷本数は増加しましたが、軽量化に伴う販売単価の低下により、売上高は8,862百万円となりました。



プリフォーム



各種紙容器

(3) その他の事業

アドバンストガラスは、抗菌剤の出荷が順調に推移しました。また、機器販売は紙容器関連の小型充填機の大型受注があり、売上高は2,005百万円となりました。



抗菌剤



ボトル内異物検査機

財務諸表（連結）

■四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 平成23年9月20日	前第2四半期 平成22年9月20日	科目	当第2四半期 平成23年9月20日	前第2四半期 平成22年9月20日
資産の部			負債の部		
流動資産	27,488	29,580	流動負債	24,806	26,426
現金及び預金	1,987	2,233	支払手形及び買掛金	6,234	6,266
受取手形及び売掛金	11,886	12,885	短期借入金	11,655	13,394
有価証券	100	100	1年内償還予定の社債	1,691	1,682
商品及び製品	8,377	8,587	未払法人税等	186	121
仕掛品	261	462	賞与引当金	679	599
原材料及び貯蔵品	3,725	3,273	その他	4,359	4,362
その他	1,177	2,079	固定負債	24,419	25,124
貸倒引当金	△ 26	△ 40	社債	8,664	9,745
固定資産	40,314	41,033	長期借入金	5,764	5,315
有形固定資産	31,741	32,424	退職給付引当金	3,932	3,834
建物及び構築物（純額）	7,704	8,206	役員退職慰労引当金	22	20
機械装置及び運搬具（純額）	7,451	8,481	汚染負荷量引当金	588	632
土地	13,363	13,371	負ののれん	43	253
その他（純額）	3,221	2,364	その他	5,403	5,322
無形固定資産	24	31	負債合計	49,226	51,551
投資その他の資産	8,549	8,577	純資産の部		
投資有価証券	4,582	4,770	株主資本	11,621	11,999
その他	4,037	3,889	資本金	5,911	5,911
貸倒引当金	△ 70	△ 83	資本剰余金	4,149	4,149
繰延資産	172	209	利益剰余金	1,829	2,206
資産合計	67,975	70,823	自己株式	△ 268	△ 267
			評価・換算差額等	4,923	5,111
			その他有価証券評価差額金	541	675
			繰延ヘッジ損益	△ 124	△ 71
			土地再評価差額金	4,507	4,507
			少数株主持分	2,204	2,161
			純資産合計	18,749	19,272
			負債純資産合計	67,975	70,823

（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

財務諸表（連結）

■四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 平成23年3月21日から 平成23年9月20日まで	前第2四半期 平成22年3月21日から 平成22年9月20日まで
売 上 高	30,564	29,727
売 上 原 価	24,962	23,666
売 上 総 利 益	5,601	6,060
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,646	5,020
営 業 利 益	954	1,040
営 業 外 収 益	324	265
営 業 外 費 用	369	369
経 常 利 益	910	936
特 別 利 益	10	—
特 別 損 失	59	1,025
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	861	△ 89
法人税、住民税及び事業税	157	241
法 人 税 等 調 整 額	191	△ 406
少数株主損益調整前四半期純利益	511	—
少 数 株 主 利 益	50	50
四 半 期 純 利 益	460	25

（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

■四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 平成23年3月21日から 平成23年9月20日まで	前第2四半期 平成22年3月21日から 平成22年9月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,363	2,168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,113	△ 1,583
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 23	10
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 6
現金及び現金同等物の増減額	223	589
現金及び現金同等物期首残高	963	1,644
現金及び現金同等物四半期末残高	1,187	2,233

（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

■新製品情報

①「ダブルエフ」

弊社傘下の北洋硝子株式会社は、1949年創業当時は魚網用の浮球を作っていました。その浮球は黒潮に乗って遥かアメリカ西海岸に流れ着いたそうです。ビーチコーマーたち（海岸に流れ着いたものを収集し、どこから流れてきたかを研究解明するひとたち）は浮球に刻印された「北」というマークをダブルFと呼び珍重していたそうです。逆さに読まれた「北」の刻印は2つの「F」となり、ブランド「ダブルエフ」が生まれました。津軽びいどろがこだわり続けてきた「色」と、ハンドメイドの「温もり」を紡ぎ、独創的なプレートシリーズを始め、テーブルウェアの新しい価値観をご提案しております。



②「スモーク&スチームドーム」

「スモーク&スチームドーム」は、キッチンで手軽に燻製（スモーク料理）が楽しめる便利アイテムです。フタが透明な耐熱硝子製なので、燻されてゆく過程が見え待ち時間も楽しめます。昔から保存食の為の調理法だった燻製は、冷蔵庫など冷蔵方法の進歩により現在では、「保存性」よりも「香り」と「旨み」を楽しむ調理法と言えます。スモーク&スチームドームがあれば、自宅のキッチンで自分だけの燻製料理を手軽にお楽しみ頂けます！また、「簡単レシピ」「お試し用スモークチップ」付きで、初めての方でも安心ですし、網を外せば蒸し料理鍋としても幅広くお使い頂けます！



🍎 ホームページのご案内

2011年8月に、当社ホームページがリニューアルしました。インターネット社会の今日、ホームページは会社の顔と言っても過言ではありません。

これまでのカンパニー別から、製品・事業別への変更や、工場・ショールームのバーチャル見学ページを作成し、楽しんでいただけるよう工夫しています。

是非一度ご覧いただきご意見がありましたらお寄せ下さい。

URL <http://www.ishizuka.co.jp>



会社概況 (平成23年9月20日現在)

■会社の概要

商号	石塚硝子株式会社
本社所在地	〒482-8510 愛知県岩倉市川井町1880番地 TEL：0587-37-2111（代表）
設立	昭和16年4月16日
株式市場	東証、名証1部
従業員数	876名
資本金	59億1千万円
事業内容	ガラスびん・ガラス食器・紙容器・プラスチック容器・セラミックス製品の製造販売及びそれらの加工品の製造販売。機器、プラント販売並びにガラスびん・ガラス食器の製造加工技術指導。

■役員

代表取締役会長	石塚 芳三
代表取締役社長	山中 昭廣
取締役副社長	石塚 久継（営業部門・管理部門掌管）
取締役兼執行役員	杉 一彦（管理本部長兼内部統制担当）
取締役兼執行役員	大橋 茂夫（技術本部長兼アドバンストガラスカンパニー社長）
執行役員	下野 富二雄（久金属工業株式会社社長）
執行役員	杉浦 一男（ペーパーパッケージカンパニー社長）
執行役員	杉浦 修（技術本部研究開発センター所長）
執行役員	加藤 明（財務部長）
執行役員	小栗 信夫（経営企画部長）
執行役員	毛利 賢司（ガラスびんカンパニー社長）
執行役員	芳賀 宜文（ハウスウェアカンパニー営業本部長）
執行役員	中西 登志夫（ガラスびんカンパニー営業本部長）
執行役員	辻本 正人（ガラスびんカンパニー生産本部長）
執行役員	町野 晃透（ハウスウェアカンパニー社長）
常勤監査役	袴田 勝義
監査役	佐治 良三
監査役	前川 三喜男
監査役	後藤 武夫

(注) 監査役佐治良三、前川三喜男及び後藤武夫の3氏は社外監査役であります。

■事業所

本社・岩倉工場	〒482-8510 愛知県岩倉市川井町1880番地
東京支店	〒103-0004 東京都中央区東日本橋二丁目1番5号 石塚ビル内
大阪支店	<ガラスびんカンパニー> 〒532-0003 大阪市淀川区宮原三丁目3番34号 新大阪DOIビル <ハウスウェアカンパニー> 〒551-0031 大阪市大正区泉尾五丁目13番11号
名古屋支店	〒482-8510 愛知県岩倉市川井町1880番地
九州支店	〒812-0853 福岡市博多区東平尾一丁目17番12号
東京工場	〒306-0432 茨城県猿島郡境町大字下小橋880番地
姫路工場	〒672-8079 兵庫県姫路市飾磨区今在家1351番1
福崎工場	〒679-2215 兵庫県神崎郡福崎町西治498番地
町屋テクニカルセンター	〒116-0002 東京都荒川区荒川七丁目4番3号

■石塚硝子グループ

【製造会社】

日本バリソン株式会社	石塚玻璃（香港）有限公司
PETボトル用 プリフォームの製造・販売 本社・東京工場：茨城県猿島郡境町 岩倉工場：愛知県岩倉市	ガラス食器加工・販売 本社：香港 深圳工場：中国広東省深圳市

ウイストン株式会社

プラスチック製容器、
及び中栓類等の製造・販売
愛知県海部郡蟹江町

亞德利玻璃（珠海）有限公司

ガラス食器製造
中国広東省珠海市

【販売会社他】

アデリア株式会社

ガラス食器販売
東京都中央区

石塚物流サービス株式会社

ガラス製品、プラスチック製品の
検査・包装作業
愛知県岩倉市

石硝運輸株式会社

貨物運送取扱
愛知県岩倉市

久金属工業株式会社

各種金属キャップの製造・販売
本社・本社工場：大阪市西成区
滋賀工場：滋賀県甲賀市

北洋硝子株式会社

ガラス食器製造
青森県青森市

株式会社高田製作所

ガラス成形機及び少人化機械
の設計・製作
愛知県岩倉市

■株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式の総数	36,295,543株
単元株式数	1,000株
株主数	4,164名

大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
明治安田生命保険相互会社	2,195	6.24
株式会社みずほ銀行	1,737	4.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,589	4.52
第一生命保険株式会社	1,500	4.26
石塚芳三	1,309	3.72
旭硝子株式会社	1,210	3.44
株式会社損害保険ジャパン	1,105	3.14
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	992	2.82
愛知時計電機株式会社	962	2.73
株式会社三井住友銀行	870	2.47

(注) 当社は、自己株式1,161千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■株主メモ

事業年度	毎年3月21日～翌年3月20日
剰余金の配当基準日	3月20日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告（ http://www.ishizuka.co.jp ） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国本支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
	未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いたします。	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。



石塚硝子株式会社

ISHIZUKA GLASS Co.,Ltd.

株主の皆様のお声を聞かせてください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5204

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、「いいかぶ」と4文字入れて検索してください。



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。